

訳書より（数字は邦訳初版刊行年）

ミゲル・アンヘル・アストウリアス

大統領閣下 1971

フリオ・コルタサル

遊戯の終り 1977

マリオ・バルガス・リヨサ

緑の家 1981

ギリェルモ・カブレラ・インファンテ

亡き王子のためのハバーナ 1983

アレッホ・カルペンティエール

この世の王国 1985

カルロス・フエンテス

アルテミオ・クルスの死 1985

ホルヘ・ルイス・ボルヘス

語るボルヘス 1987

イサベル・アジェンデ

精霊たちの家 1989

マヌエル・プイグ

このページを読む者に

永遠の呪いあれ 1990

ガルシア・マルケス

迷宮の将軍 1991

コルタサル

通りすがりの男 1992

コルタサル

悪魔の涎・追い求める男 1992

ホセ・ドノーン

三つのブルジョワ物語 1994

カルロス・フエンテス

アウラ・純な魂 1995

出版 NPO 「本をたのしもう会」 スペシャル・トーク 2018



# 海外文学の楽しみ方

## 講師 ● 木村 栄一 さん

日時 | 2018年 **2月12日** (月・休日) 午後2時～4時 (開場午後1時30分)

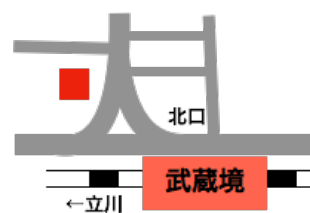
会場 | 武蔵野スイングホール・スカイルーム (南棟10階、定員100名、全席自由席)

JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」北口下車徒歩1分

参加費 | 1,000円 (学生500円)

申込み | 下記専用アドレス※宛、事前申込み (先着100名)

主催 | 出版 NPO 「本をたのしもう会」



ボルヘス、アドルフ・ビオイ・カサーレス

ドン・イシドロ・パロディ

六つの難事件 2000

フリオ・リヤマサーレス

黄色い雨 2005

ホルヘ・ボルヘス

エル・アレフ 2005

ガルシア・マルケス

コレラの時代の愛 2006

オクタビオ・パス

もうひとつの声

詩と世紀末 2007

サンティアゴ・パハール

螺旋 2010

サンティアゴ・パハール

キャンパス 2011

バルガス・リヨサ

アンデスのリトウーマ 2012

エンリーケ・ピラ・マタス

パリに終わりはこない 2017

木村 栄一 ● スペイン語文学研究者・翻訳家

1943年、大阪生まれ。スペイン文学・ラテン

アメリカ文学翻訳者。神戸市外国語大学イスパ

ニア語科卒。同大学教授、学長を経て、現在神

戸市外国語大学名誉教授。

ラテンアメリカ文学の著名作品の紹介や現代

スペイン文学の話題作発掘で高い評価を受け

る。スペイン語文学翻訳の第一人者。訳書多数。

※事前申込み専用アドレス [honwotanoshimoukai20180212@gmail.com](mailto:honwotanoshimoukai20180212@gmail.com)

①氏名(ふりがな)②連絡用のメールアドレスまたは電話番号③お住まいの所在地(市区名)④同伴者氏名を明記し、メールの件名を「スペシャルトーク 2018 申込み(申込み者氏名)」として、事前申込みをお願いします。学生の方は、大学名を記入してください。当日、受付で学生証をご提示ください。

# 職人仕事としての翻訳

講師：木村榮一さん

ことばとの出会い 広がる世界！

ドストエフスキーをはじめとする古典の新訳が出版各社から相次ぎ、先年完結した池澤夏樹個人編集の『世界文学全集』（河出書房新社）全30巻が40万部の売り上げを記録するなど、いま再び世界の文学に注目が集まっています。カズオ・イシグロのノーベル賞受賞は、翻訳文学への関心をさらに高めるものとなるでしょう。

「海外文学はワンダーランドだ。はっきりいって、むちゃくちゃおもしろい。海外文学で遊び、ゆかいに死んでいく人生でありたい。」ネット上でみつけた言葉です。

しかし海外の文学作品を楽しめるかどうかは、翻訳の質に大きく左右されまます。翻訳の出来が良くないと、どんなに元の作品が優れていてもその魅力は伝わりません。読んでも楽しむことは出来ません。

そこで今回、名翻訳者の木村榮一さんを関西から特別にお招きし、翻訳の苦労話や醍醐味、翻訳の心得などをめぐって

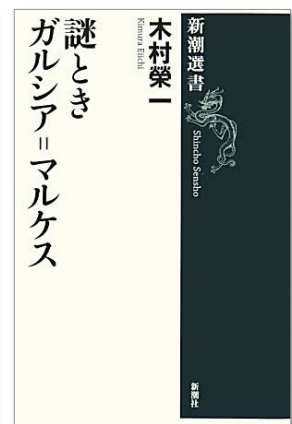
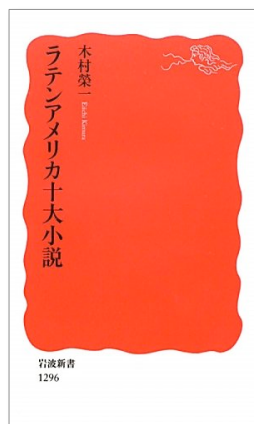
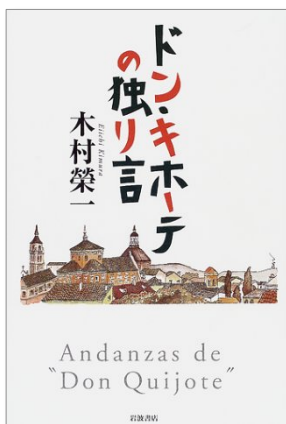
たっぷりお話しいただくことにしました。

木村さんは、バルガス・マリョサ、ガルシア・マルケス、オクタビオ・パスといったノーベル賞受賞作家のほか、カルロス・フエンテス、ボルヘス、コルタサル等、ラテンアメリカの名だたる作家の作品を多数翻訳し、現代スペインの話題作を相次いで発掘するなど、スペイン語文学翻訳の第一人者として知られる方です。外国文学と出会い試行錯誤してきた自らの軌跡を振り返りつつ、翻訳をする際の苦しみとともに得られる喜び、文学のたのしみ方、味わい方について語っていただきます。

この機会に、外国文学の愛読者、翻訳に関心のある方はもちろん、海外の文学に興味のない方、ラテンアメリカ文学もスペイン文学も読んだことのない方も、木村さんの肩肘張らない巧みな話術を楽しみつつ、翻訳という創造空間の豊かさに接し、外国文学のたのしみ方を発見してみませんか。ご来場をお待ちします。

「本をたのしもう会」K・T記

## 木村榮一さんの主要著作



●左から『ドン・キホーテの独り言』（岩波書店、2001年）、『ラテンアメリカ十大小説』（岩波新書、2011年）  
『翻訳に遊ぶ』（岩波書店、2012年）、『謎ときガルシア＝マルケス』（新潮選書、2014年）

【本をたのしもう会事務局】〒180-0001 武蔵野市吉祥寺北町 1-8-2 (畑 方)

www.npo-honwotanoshimoukai.com

問い合わせ専用ダイヤル

090-2662-5218